平成２９年３月３日

社団法人日本クラシック音楽事業協会御中

音楽による福島まち造り実行委員会
代表　三浦尚之
推薦者］一般社団法人日本クラシック音楽事業協会　理事・大内栄和、参与・善積俊夫

復興支援音楽祭実施報告

日程：２０１７年２月４日（土）１４時００分～１８時００分
会場：福島市音楽堂大ホール　＆　古関裕而記念館サロン
出演：基調講演：赤坂憲雄（福島県立博物館長）演奏：民謡歌手（藤堂輝明、根本美希、佐藤木綿子）、三味線（上原潤之助）、佐藤正治（パーカッション）、中村明一（尺八）、平野友梨（お囃子）、伝統文化みらい協会（踊り）
スタッフ：三浦隆晴（舞台監督）、花岡美智（音響）

内容：
＊基調講演:「歌を携えて、故郷へ」 福島県立博物館長・赤坂憲雄

＊コンサート第一部：　プロローグ「さんさしぐれ」
「刈干切唄」「秋田音頭」「新相馬節」「会津磐梯山」「三春甚句」

コンサート第二部：
「神保山谷」「悠」「相撲甚句」「黒田節」「福島花物語」(本邦初演)、
エピローグ「ソーラン節」

＊ふれあい交流会

来場者：約６７６名

目的：
福島県田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村は、2011年3月の東日本大震災による福島第1原発事故で大量の放射線に見舞われ、現在89，323名がいまだに避難生活を余儀なくさ

れています。その内、心身不調が62．1%、また家族分散が47．5%に上っています。徐々に避難解除された市町村もありますが、多くの人々は、帰還することへの躊躇、不安を感じています。こうした状況を鑑み、懐かしい故郷の唄を聞くことにより、失われた昔の楽しい想い出を蘇らせる機会を提供したいと、音楽による福島まち造り実行委員会は、「ふるさとの唄・日本の心」音楽祭を開催いたしました。避難の困難を強いられている福島県民の心の復興に寄与できれば、幸いでした。

成果：

基調講演者の赤坂憲雄館長は、「故郷とは、日常から離れて地域が一体になれる場所。被災地を回り続けて唄の力が人々の気持ちを支えているのだと気付いた」と話しました。

また、民謡歌手3人とお囃子、そして演奏家（尺八、三味線、パーカッション）に合わせた伝統文化みらい協会（小学生1年から大学生1年の17名）との踊りが、新たな民謡の創造に寄与したと、多くの聴衆から評価された。

ＮＨＫ総合テレビ、福島テレビ、福島放送、テレビユー福島でニュースとして放送され、また福島民報、福島民友新聞に評価記事が掲載されました。

経費報告：

旅費交通費：１７４，８００円

＜内訳＞赤坂憲雄（講演者）、藤堂輝明、根本美希（民謡歌手）、中村明一、（尺八）、佐藤正治（パーカッション）、佐藤香（楽器調整者）、上原潤之助(三味線)、三浦隆晴（舞台監督）、花岡美智（音響）、北沢怜（マネージャー）、三浦尚之（芸術監督）

東京～福島（東北新幹線）１１名＝１７４，８００円

宿泊費：リッチモンド・ホテル福島泊9名＝62，550円

藤堂輝明、根本美希（民謡歌手）、中村明一、（尺八）、佐藤正治（パーカッション）、佐藤香（楽器調整者）、上原潤之助(三味線)、三浦隆晴（舞台監督）、花岡美智（音響）、北沢怜（マネージャー）9名＝62，550円

合計　２３７，３５０円

以上

music from JAPAN

ミュージック・フロム・ジャパン

音楽による福島まち造り 2017

ふるさとの唄 日本の心

赤坂憲雄

中村明一

根本美希

藤堂輝明

伝統文化みらい協会

2017 2/4 土

会場 福島市音楽堂大ホール

開場13:30 | 開演14:00 | ふれあい交流会 | 16:30〜

主催 音楽による福島まち造り実行委員会、ミュージック・フロム・ジャパン

共催 福島市教育委員会、公益財団法人 福島市振興公社

助成 日本クラシック音楽事業協会(心の復興音楽基金)、公益財団法人 福島県文化振興財団

協力 福島テレビ、一般財団法人 ふくしま未来研究会、福島学院大学、福島民友新聞社
福島テレビエンタープライズ、桜ヶ丘病院、福島商工会議所、国際ソロプチミスト福島、福島県立医科大学

後援 ふくしま連携復興センター

Program プログラム

14:00～ | 基調講演「歌を携えて、故郷へ」

赤坂 憲雄

東京都出身。学習院大学教授。福島県立博物館館長。専門は東北文化論と日本思想史。「東北学」を掲げて、地域学の可能性を問いかけてきたが、東日本大震災を経て、被災地から東北学の第二ステージを探りはじめている。主な著書に、『異人論序説』(ちくま学芸文庫)、『北のはやり歌』(筑摩選書)、『震災考』(藤原書店)、『司馬遼太郎 東北をゆく』(人文書院)ほか多数。

15:00～ | コンサート

プロローグ | さんさしぐれ 宮城民謡　佐藤木綿子、上原潤之助、平野友梨、伝統文化みらい協会

刈干切唄 宮崎民謡
藤堂輝明、中村明一

秋田音頭 秋田民謡
根本美希、上原潤之助、佐藤正治

新相馬節 福島民謡
根本美希、中村明一、上原潤之助

会津磐梯山 福島民謡
根本美希、上原潤之助、佐藤正治

三春甚句 福島民謡
根本美希、中村明一、上原潤之助、佐藤正治

神保三谷 福島虚無僧曲
中村明一

悠-haruka- パーカッション・ソロ
佐藤正治

相撲甚句 民謡
藤堂輝明

黒田節 福岡民謡
藤堂輝明、中村明一、上原潤之助、佐藤正治

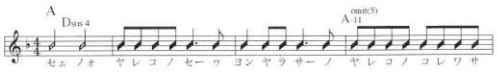
福島花物語 福島創作民謡 (本邦初演)
藤堂輝明、根本美希、中村明一、上原潤之助、佐藤正治

エピローグ | ソーラン節 北海道民謡　藤堂輝明、根本美希、佐藤木綿子、中村明一、上原潤之助、佐藤正治、伝統文化みらい協会

※曲目、曲順は演奏者の都合により変更になる場合があります。

「福島花物語」 作詞 大澤江南子　作曲 中村　明一

A　セェノォ　ヤレコノセーワ　ヨンヤラサーノ　ヤレコノコレワサ
　サッサーノサーノ　サノヨーィャ　サーサ



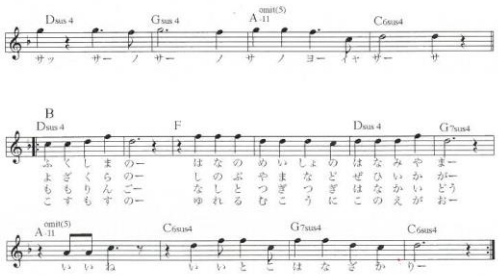
B

一、　福島の　花の名所の　花見山
　いいね　いいとこ　花盛り

二、　夜桜の　信夫山など　ぜひいかが
　いいね　いいとこ　花盛り

三、　桃りんご　梨と次々　花街道
　いいね　いいとこ　花盛り

四、　コスモスの　揺れる向こうに　子の笑顔
　いいね　いいとこ　花盛り



ミュージック・フロム・ジャパン
音楽による福島まち造り2017

ふるさとの唄 日本の心

福島県田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村は、2011年3月の東日本大震災による福島第1原発事故で大量の放射線に見舞われ、現在89,323名がいまだに避難生活を余儀なくされています。その内、心身不調が62.1%、また家族分散が47.5%に上っています。徐々に避難解除された市町村もありますが、多くの人々は、帰還することへの躊躇、不安を感じています。こうした状況を鑑み、懐かしい故郷の唄を聞くことにより、失われた昔の楽しい想い出を蘇らせる機会を提供したいと、音楽による福島まち造り実行委員会は、「ふるさとの唄・日本の心」音楽祭を開催いたします。避難の困難を強いられている福島県民の心の復興に寄与できれば、幸いです。

～プロフィール～

根本美希　民謡歌手

キングレコード専属。福島県会津若松市出身。6歳から民謡を始め、7歳から地元の民謡家遠藤七郎氏に師事。その後、藤堂流家元、藤堂輝明氏に師事、今日に至る。明るく、人が大好きという性格を生かし、民謡番組に限らず、いろんな放送番組、舞台に幅広く出演。童謡、懐メロ、歌謡曲とジャンルを問わないプログラム そして、温かいおしゃべりが好評。

藤堂輝明　民謡歌手

福岡県久留米市出身。浪曲の曲師であった父の影響で、10歳で浪曲の初舞台。18歳で上京後、渡辺輝憧師に民謡を師事。男性民謡歌手の四天王と呼ばれ、舞台を中心とし、TV、ラジオと第一線で活躍中。その歌声は、聴く人の心を大きく揺らす程の美声で、多種多様な歌をこなす。出身地でもある九州地方の民謡を中心に幅広いレパートリーを持つ。

上原潤之助　三味線

民謡・端唄・俗曲をベースに、現代曲・長唄・津軽三味線・三線等、細分化された三味線界において、太棹・中棹・細棹・三線と、他三味線を自在に扱うことのできる数少ないマルチ三味線プレーヤー。現在は後進指導の傍ら、TV・ラジオ出演、また純邦楽界にとどまらず、現代曲・ポップス・ジャズ・ロック・クラシック他、幅広い分野で演奏活動を展開している。

中村明一　尺八

横山勝也師、多数の虚無僧尺八家に尺八を師事。米国バークリー音楽大学、米国ニューイングランド音楽院大学院にて作曲とジャズ理論を学ぶ。自ら捜しあて極めた日本古来の呼吸法「密息」、独自に開発した方法による循環呼吸、「倍音」を自在に操る。外務省・国際交流基金の派遣・海外からの招聘など、世界40か国、150都市で演奏。各方面より委嘱を受け、作品多数。

佐藤木綿子　民謡歌手

平成6年生まれ。21歳。福島県福島市出身。
平成15年、吉田桃媛会に入会し、吉田桃媛師に師事、民謡と三味線を習い始める。
数々の入賞経歴があり現在、飯坂若旦那三味線ユニット「飯坂だ♨べした～ず」のボーカル「もめんこ」として、飯坂温泉を中心に様々な地域で活動をしている。

PHOTO By Masaaki Ikeda/SOUL

佐藤正治　打楽器

打楽器、声を駆使し「地球の音」を追いかけるアーティスト。数々の国内外のフェスティバルに出演し打楽器と声を自在に操るエネルギッシュな表現は、各国で非常に高い評価を得ている。作曲家として、楽曲提供、CM、映画音楽、シドニーオリンピック新体操日本代表の演技曲、NHKスペシャル「大アマゾン最後の秘境」の音楽を手掛ける。MASSA、等のバンドを主宰すると共に、ヒカシュー、他へ参加し、意欲的な活動を続けている。

伝統文化みらい協会　踊り

伝統文化を学ぶ次世代の若者たちが、日本人が長年培ってきた美意識、礼儀作法を大切にしつつ、文化で世界と繋がるために設立。現在、日本の踊りを学ぶ4歳から21歳まで、30名が在籍している。
福島の「今」と元気を、自分たちの言葉と感性を通じて発信したいと、国内外での活動を目指している。(理事長 花柳沙里樹)

出演者　(一社)伝統文化みらい協会
花柳里真衛　木村梨紗　諏佐 葵　沼崎なな香　氏家蒼衣　樋口有沙　笹原温恕　山本真音　古川結愛　山崎未遥　菊池 結
馬場千佳　横田柚莉愛　大内栞里　高田ひなの　宮島 凜　ギブソン江真

ミュージック・フロム・ジャパン

ミュージック・フロム・ジャパンは、1975年三浦尚之が設立。以来ニューヨーク州芸術評議会をはじめ、国際交流基金、文化庁、日米の財団、在米日系企業など多方面からの支援を得て、音楽を通しての文化交流に努めている。音楽之友社賞、外務大臣表彰、新日鉄音楽賞、中島健蔵音楽賞、国際交流基金奨励賞に加え文化庁長官表彰が授与された。ニューヨークにおいて1994年に開かれた日本音楽資料センターでは、日本の音楽や文化に関する世界中からの様々な問い合わせに対応している。

photo: Ken Howard

三浦 尚之　●MFJ芸術監督 ●音楽による福島まち造り実行委員長

福島市生まれ。東京芸術大学音楽部卒業。昭和41年フルブライト奨学生として渡米。ニューヨーク市ジュリアード音楽院博士課程にて学ぶ。
昭和61年、福島女子短期大学教授就任。平成8年、福島女子短期大学学長就任(平成13年3月まで ※現福島学院大学)、文部科学省大学設置審議会音楽専門委員会(主査)、文部科学省中央教育審議会(中教審)芸術部門専門委員、大学評価・学位授与機構認証評価委員を歴任。現在、福島学院大学教授、ミュージック・フロム・ジャパン理事長兼芸術監督、福島市音楽文化総合アドバイザー、財団法人桜ヶ丘病院理事を兼務。
1985年「外務大臣表彰」と、「年間最優秀プロデューサー賞」、1996年「新日鐵音楽賞」と「中島健蔵音楽賞」、2001年「国際交流基金奨励賞」、2007年に「文化庁長官表彰」が授与され、2003年には「文化庁初代文化交流使」として活動、2010年、ソロプチミスト日本財団「千嘉代子賞」を受賞。また、2012年5月三浦へ現代音楽協会特別賞が贈られた。

音楽による福島まち造り実行委員会

委員長	三浦尚之（福島市音楽文化総合アドバイザー）
委員	本間　稔（福島市教育委員会教育長）
	菊地威史（公益財団法人福島市振興公社理事長）
	古山直一（元福島県芸術文化団体連合会副会長）
	吉原泰助（元国立大学法人福島大学長）
監査	渡部　康（財団法人桜ヶ丘病院理事長）

ミュージック・フロム・ジャパン

理事	三浦尚之（代表）
	小野真理
	Yuriko
名誉会長	小和田恆 裁判官（国際司法裁判所判事）
名誉副会長	佐々江賢一郎 大使（在アメリカ合衆国特命全権大使）
	日枝　久（フジテレビジョン代表取締役会長）
	内堀雅雄 知事（福島県知事）
	大橋洋治（ANAホールディングス相談役）
名誉顧問	高橋礼一郎 大使（在ニューヨーク総領事）
	池辺晋一郎（作曲家）
	ドナルド・キーン（コロンビア大学名誉教授）
	信元久隆（曙ブレーキ工業代表取締役社長）
	佐々木正峰（元文化庁長官）
顧問	銭谷眞美（東京国立博物館館長）
	切刀秀記（全日本空輸執行役員・米州総支配人ニューヨーク支店長）
	若松　誠（フジサンケイ・コミュニケーションズ・インターナショナル代表取締役社長）
	渡辺敏治（元東芝取締役専務）
コンサルタント	船山　隆（音楽学者、東京芸術大学名誉教授）
	石田一志（音楽評論家）

ミュージック・フロム・ジャパン音楽祭支援委員会

委員長	中村啓治（福島テレビ取締役相談役）
委員	高橋雅行（福島民報社代表取締役社長）
	五阿弥宏安（福島民友新聞社代表取締役社長）
	森　洋一（福島テレビ代表取締役社長）
	河田卓司（福島中央テレビ代表取締役社長）
	福家康宣（福島放送代表取締役社長）
	信国一朗（テレビユー福島代表取締役社長）
	森川英治（福島銀行代表取締役社長）
	樋口郁雄（福島信用金庫理事長）
	佐藤健介（福島トヨタ自動車代表取締役社長）
	福井邦顕（日本全薬工業代表取締役会長）
	湯浅大郎（公益財団法人 湯浅報恩会理事長）
特別顧問	小和田恆（国際司法裁判所判事）
顧問	ドナルド・キーン（コロンビア大学名誉教授）
	小林　香（福島市長）
	糠澤修一（福島テレビ代表取締役会長）

ミュージック・フロム・ジャパン音楽祭スポンサー

プリンシパル・リーダー	フジテレビジョン、全日本空輸、三浦尚之
リーダー	IHI、サンフォニックス
プリンシパル・ベネファクター	福島放送、福島テレビ、福島トヨタ自動車、一般財団法人ふくしま未来研究会、東芝
ベネファクター	福島銀行、福島信用金庫、福島民報社 福島民友新聞社、日本全薬工業
プリンシパル・パトロン	テレビユー福島、湯澤光子
パトロン	福島映像企画、福島中央テレビ、福島ヤクルト販売、糠澤修一、東邦銀行、湯浅報恩会、湯浅大郎
スポンサー	垣ヶ原靖博、福島テレビエンタープライズ、内藤頼誼、西村 朗、野坂操壽、渡辺 勝、渡辺敏治
チャンピオン	浅川修二、池辺晋一郎、菅野義人、齋藤博之、霧生トシ子、佐々木秀、佐々木正峰、志村裕基、高橋アキ、中野新一、増本伎共子、水谷つや、御手洗康、山本裕之
友達	青山恵子、浅野公子、安藤勝夫、石岡栄子、板倉康明、磯田宗人、大類朋美、岡崎　正、奥田恵二、小山京子、加藤　忠、香山雪彦、カンノ洋服店、木口文弘、功刀俊洋、黒沢　勇、桑島　稔、後藤忠久、斉木由美、佐藤昌史、斎藤喜代治、宍戸利夫、高塩　至、髙田宗彦、髙橋美子、玉井　寛、坪田昭三、徳丸吉彦、新妻威男、中川俊郎、中村啓治、永倉禮司、野平一郎、芳賀紘子、半田淳子、HEART計画株式会社、三田公美子、三宅一秀、宮脇英朗、ミリオンコンサート協会、三輪眞弘、武藤政記、村松眞理、最上　諭、森川英治、森村俊介、船戸輝久、本名善兵衛、矢部　剛、吉井澄雄、吉原泰助、依田真理恵

フジテレビ　IHI Realize your dreams　TOSHIBA Leading Innovation >>>　ANA Inspiration of JAPAN A STAR ALLIANCE MEMBER　SUNPHONIX　JAPANFOUNDATION